

## 第3章

## 基本目標

(将来像を実現するためのまちの姿)

1 未来を創り出す子どもたちが  
夢と希望をもって健やかに育つまち

子どもたちが、よりよい未来を創り出す力を持ち、  
笑顔で元気に育つことが、大田区の明るい未来へとつながります。  
また、子どもたちが豊かな愛情に包まれ、自分らしく成長することにより、  
まちは思いやりと活気に満ちあふれます。  
明るく活力のある社会を築くためにも、  
子どもたちが夢と希望をもって健やかに育つまちをめざします。

子どもの権利が守られ、  
子どもたちが将来に希望をもって  
育っています。

子どもたちが安全・安心で  
自分らしく過ごせる居場所や  
楽しくのびのびと遊ぶ場所が充実しています。

お子伝い  
しましょうか？



子どもたちをあたためながら、  
こどもの声に耳を傾けながら、  
地域全体で子育て・子育てを支えています。

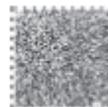
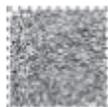


世界の人々と積極的に関わりながら、  
よりよい未来を創り出す  
人材が育っています。



希望する誰もが、安心して子どもを産み、  
育てることができ、  
子どもたちが愛情を注がれて  
健やかに成長しています。

一人ひとりに  
寄り添う学びにより、  
すべての子どもが  
自分らしく輝いています。



## 1-1 こどもの権利が守られ、こどもたちが自分らしく育つ環境づくり

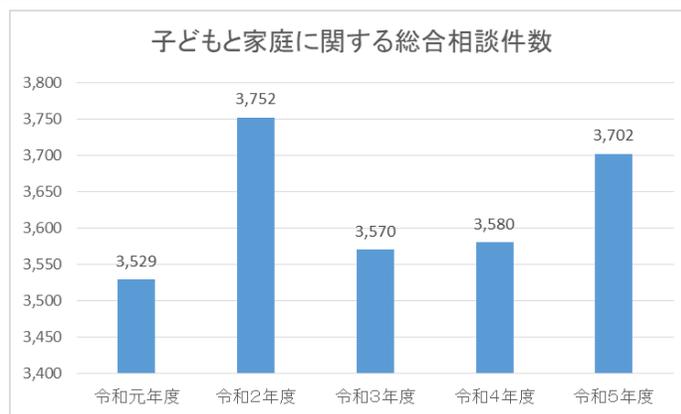
### 1 関連する個別計画

- (1)大田区子ども・若者計画 (2)おおた 子どもの生活応援プラン (3)大田区子ども・子育て支援計画  
(4)おおた教育ビジョン

### 2 これまでの成果（令和元～5年度）

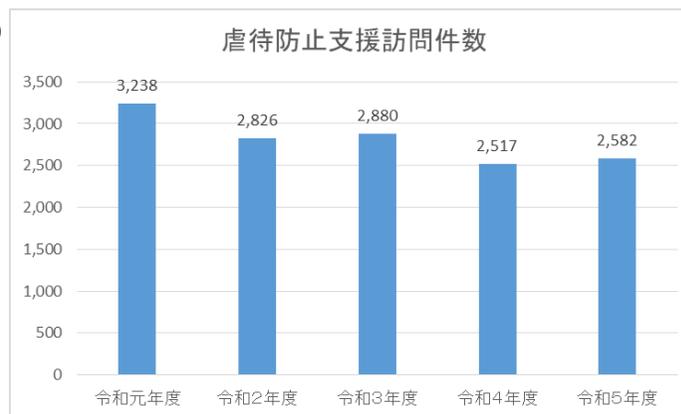
- 子ども家庭支援センターにおいて、18歳未満のこども及びその保護者を対象とした総合相談を実施し、合計18,133件（令和元～5年度）に対応しました。（参考：図表①）  
また、こどもの健全な成長のため、虐待防止支援訪問として、保護者の生活課題や極度の養育不安等、困難を抱えた家庭を合計14,043件（令和元～5年度）訪問し、関係機関と連携して虐待の予防的支援に取り組みました。（参考：図表②）

図表①



資料：所管課実績

図表②



資料：所管課実績

## 1-1 こどもの権利が守られ、子どもたちが自分らしく育つ環境づくり

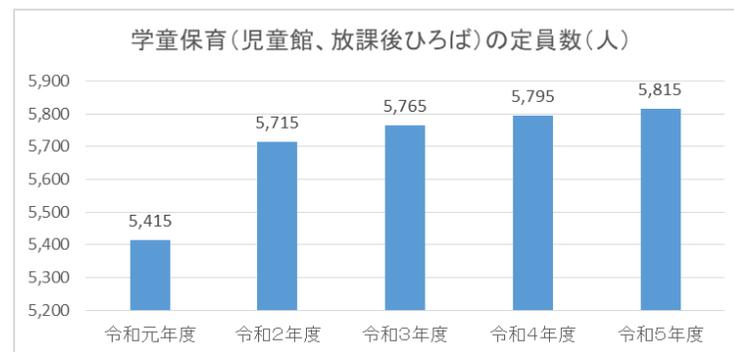
### 1 関連する個別計画

- (1)大田区子ども・若者計画 (2)おおた 子どもの生活応援プラン (3)大田区子ども・子育て支援計画  
(4)おおた教育ビジョン

### 2 これまでの成果（令和元～5年度）

- 困難を有する子ども・若者を特定の年齢や分野の狭間で途切れることなく迅速・的確な支援につなげていくため、令和4年10月31日に「大田区若者サポートセンターフラットおおた」を設置しました。相談窓口を通じ適切な支援につなげるとともに、居場所や各種参加活動の機会を提供することにより、社会参加を後押しし、就労・就学支援を含む自立への支援体制を整備しています。開設以来、延べ相談件数2,905件、延べ居場所利用人数5,413人と多くの若者から利用されています。
- 児童館等の運営（一般利用、学童保育）のほか、平成27年度から小学校内の施設を活用して放課後子ども教室と学校内学童保育を一体的に運営する放課後ひろばを整備し、学童保育の定員数の拡充と子どもたちが安全・安心に過ごせる居場所づくりを進めてきました（令和5年度：学童保育の定員数5,815人、放課後ひろば49校、放課後子ども教室（単独型）9校）。（参考：図表③）  
また、中高生世代の専用施設として中高生ひろばを平成30年度に羽田地区、令和4年度に蒲田地区に開設しました。

図表③



資料：所管課実績

## 1-1 こどもの権利が守られ、子どもたちが自分らしく育つ環境づくり

### 1 関連する個別計画

- (1)大田区子ども・若者計画 (2)おおた 子どもの生活応援プラン (3)大田区子ども・子育て支援計画  
(4)おおた教育ビジョン

### 2 これまでの成果（令和元～5年度）

- ひとり親家庭の相対的貧困率が高いことをふまえ、「離婚と養育費にかかわる総合相談」を年4回実施し、合計141人（令和2～5年度）が利用しました。生活支援に関する相談に対応できるよう、大田区生活再建・就労サポートセンターJOBOTAによる「子ども生活応援臨時窓口」を同時に実施し、合計92人（令和2～5年度）が利用しました。また、公正証書作成費用等を合計47人（令和4～5年度）に対して補助し、養育費の確実な受給を図りました。
- 合計934人（令和元～5年度）の様々な困難を抱えるこどもが、「高校等進学準備給付型奨学金」「大学等進学準備給付型奨学金（大学等進学応援基金）」「貸付型奨学金（大学等）」を活用して進学しました。また、大田区社会福祉協議会への委託事業「受験生チャレンジ支援貸付事業」では、合計1,836件（令和2～5年度）の貸付を行いました。
- 自治会・町会やこどもの貧困対策に取り組む地域団体等へ活動支援を行い、こどもや保護者がやすらげる居場所を提供しました。
  - ・「こども食堂推進事業」 延べ113団体（令和元～5年度）
  - ・「大田区長期休暇中の子どもの居場所づくり補助事業」 合計10団体（令和5年度）

## 1-1 こどもの権利が守られ、子どもたちが自分らしく育つ環境づくり

### 3 現状と課題

#### 現状①

核家族化の進行や地域のつながりの希薄化等により、妊娠・出産・育児に関する不安を感じる方が一定数います。児童虐待の相談件数は増加傾向にあり、ここ数年は1,000件以上で高止まりしています。(参考：図表①)



#### 課題①

子ども家庭支援センターが児童相談所等の関係機関等との連携をさらに強化し、児童虐待の未然防止及び深刻化や再発の防止に努める必要があります。

図表①



資料：所管課実績

#### 現状②

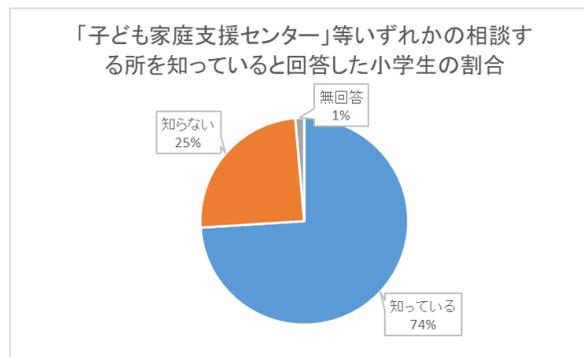
子ども家庭センターに子ども自身から相談を寄せられることは少ないものの、こどもの置かれている状況は、保護者の困りごとや養育上の悩みの相談、関係機関からの連絡・相談によって把握しています。



#### 課題②

こどもの人権・権利についての理解や意識の向上を図るとともに、相談先の周知等、子ども自身が悩みや困りごとを相談しやすい環境を整える必要があります。(参考：図表②)

図表②



資料：「大田区子ども・子育て支援事業計画策定に向けたアンケート調査報告書（令和6年5月）」

# 1-1 こどもの権利が守られ、子どもたちが自分らしく育つ環境づくり

## 3 現状と課題

### 現状③

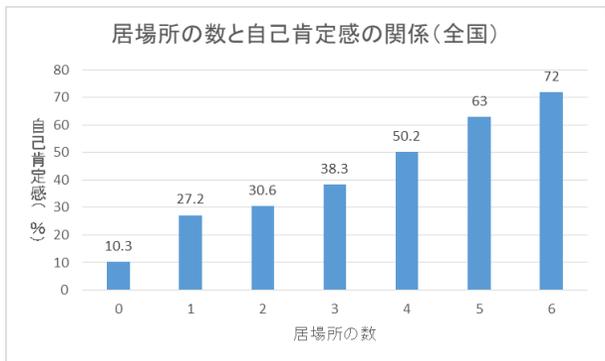
少子化や地域のつながりの希薄化等により、子ども・若者が地域コミュニティの中で育つことが困難になっています。また、一人ひとりが望む居場所は価値観とともに多様化しており、取り巻く課題も複雑かつ複合化しています。



### 課題③

子ども・若者にとっての居場所の多さと自己認識の前向きさは概ね相関関係にあることから、取り巻く環境や多様化するニーズを的確に捉えながら、自宅・学校以外にも育ちにつながる安全・安心な居場所づくりが求められています。（参考：図表③）

図表③



資料：内閣府「令和4年版 子供・若者白書」

### 現状④

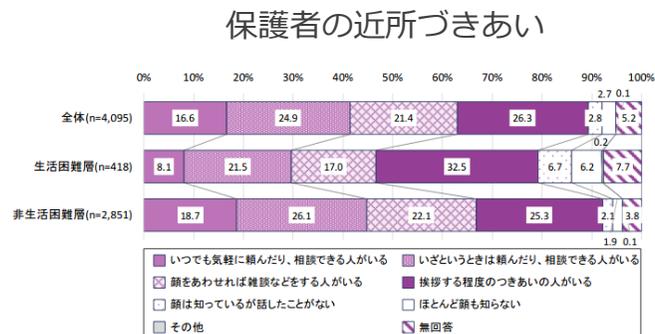
小学校5年生のひとり親の保護者への近所づきあいに関するアンケートについて「相談できる人がいる」と回答した割合が全体では41.5%に対し、生活困難層は29.6%と、相対的に近所づきあいが希薄な傾向にあります。（参考：図表④）



### 課題④

支援を要する子どもやひとり親の保護者がやすらげる居場所づくりや、身近な人に相談できる包括的な支援体制の整備が求められています。

図表④



資料：「大田区令和2年度ひとり親家庭の生活実態に関する調査」

# 1-1 こどもの権利が守られ、子どもたちが自分らしく育つ環境づくり

## 3 現状と課題

### 現状⑤

離婚後における養育費の受給状況について、全体の半数が養育費を受け取れておらず、こどもの健やかな成長に格差が生じる要因となります。（参考：図表⑤）



### 課題⑤

離婚前後における生活や養育費に関する相談体制、養育費の受給確保を支援し、こどもが健やかに成長するための取組が求められています。

### 現状⑥

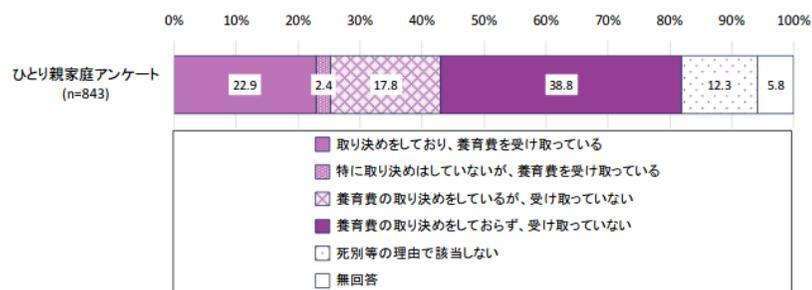
小学5年生の保護者に、こどもにどの段階まで教育を受けさせたいかを尋ねたアンケートでは、「大学またはそれ以上」と回答した割合は、全体で74.8%、生活困難層では51.0%となり、こどもの進学に対する期待に差がみられます。（参考：図表⑥）



### 課題⑥

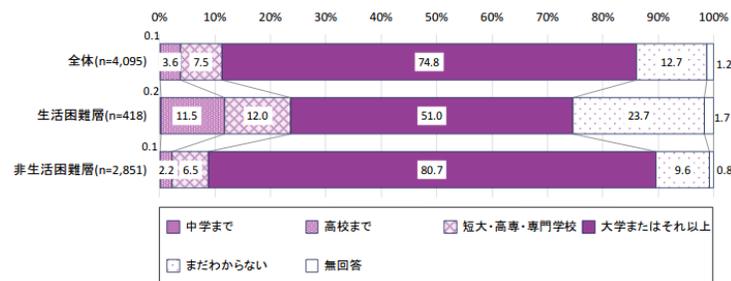
家庭における経済的な理由がこどもの進学・就学の妨げとならないよう、すべてのこどもの教育機会均等を図る取組が求められています。

図表⑤ 養育費の受け取り・取り決め状況



資料：「大田区令和2年度ひとり親家庭の生活実態に関する調査」

図表⑥ こどもへの進学期待



資料：「大田区令和2年度ひとり親家庭の生活実態に関する調査」

# 1 未来を創り出す子どもたちが夢と希望をもって健やかに育つまち

## 1-1 こどもの権利が守られ、子どもたちが自分らしく育つ環境づくり

### 【参考】対応する基本構想で描いた2040年ごろのまちの姿

**基本目標** 未来を創り出す子どもたちが夢と希望をもって健やかに育つまち

#### まちの姿

- こどもの権利が守られ、子どもたちが将来に希望をもって育っています。
- 子どもたちをあたたかいまなざしで包み、こどもの声に耳を傾けながら、地域全体で子育て・子育を支援しています。
- 希望する誰もが、安心して子どもを産み、育てることができ、子どもたちが愛情を注がれて健やかに成長しています。
- 子どもたちが安全・安心で自分らしく過ごせる居場所や楽しくのびのびと遊ぶ場所が充実しています。

## 4 めざす姿

### めざす姿①

こどもの権利について本人及び社会の理解が深まるとともに、子どもが利用しやすい相談窓口が広く認知されています。また、児童虐待に関する関係機関の緊密な連携による一体的な児童相談体制が整備され、こどもの安全・安心が確保されています。

### 対応する課題

課題①②

## 5-1 指標名

### 指標①（めざす姿①に対応）

相談できるところを知っているこどもの割合

# 1 未来を創り出す子どもたちが夢と希望をもって健やかに育つまち

## 1-1 こどもの権利が守られ、子どもたちが自分らしく育つ環境づくり

### 【参考】対応する基本構想で描いた2040年ごろのまちの姿

**基本目標** 未来を創り出す子どもたちが夢と希望をもって健やかに育つまち

#### まちの姿

- こどもの権利が守られ、子どもたちが将来に希望をもって育っています。
- 子どもたちをあたたかいまなざしで包み、こどもの声に耳を傾けながら、地域全体で子育て・子育を支援しています。
- 希望する誰もが、安心して子どもを産み、育てることができ、子どもたちが愛情を注がれて健やかに成長しています。
- 子どもたちが安全・安心で自分らしく過ごせる居場所や楽しくのびのびと遊ぶ場所が充実しています。

## 4 めざす姿

### めざす姿②

子ども・若者が自宅・学校以外にも安全・安心に過ごせる多様な居場所が整備され、様々な体験や交流、相談等が行えるほか、年齢を問わず相互に人格と個性を尊重しながら自分らしく過ごすことができます。

### 対応する課題

課題③④

## 5-1 指標名

### 指標②（めざす姿②に対応）

自分らしく過ごせたり、居心地が良いと感じる居場所があるこどもの割合

### 指標③（めざす姿②に対応）

居場所を複数箇所選択したこどもの割合

# 1 未来を創り出す子どもたちが夢と希望をもって健やかに育つまち

## 1-1 こどもの権利が守られ、子どもたちが自分らしく育つ環境づくり

### 【参考】対応する基本構想で描いた2040年ごろのまちの姿

**基本目標** 未来を創り出す子どもたちが夢と希望をもって健やかに育つまち

#### まちの姿

- こどもの権利が守られ、子どもたちが将来に希望をもって育っています。
- 子どもたちをあたたかいまなざしで包み、こどもの声に耳を傾けながら、地域全体で子育て・子育を支援しています。
- 希望する誰もが、安心して子どもを産み、育てることができ、子どもたちが愛情を注がれて健やかに成長しています。
- 子どもたちが安全・安心で自分らしく過ごせる居場所や楽しくのびのびと遊ぶ場所が充実しています。

## 4 めざす姿

### めざす姿③

子どもたちが、その生まれ育った環境によって左右されることなく一人ひとりが夢や希望をもち、未来を切り拓く力を身につけることができます。

### 対応する課題

課題⑤⑥

## 5-1 指標名

### 指標④（めざす姿③に対応）

将来の夢や目標をもっているこどもの割合

## 1-1 こどもの権利が守られ、子どもたちが自分らしく育つ環境づくり

### 5-2 指標・目標値

#### ■ 指標① 相談できる所を知っているこどもの割合

##### (1) 指標の把握方法・算出方法

区の施策検証等に向けた大田区区民意識調査  
「相談できる所を知っていますか。」という設問に対し、「知っている」と回答したこどもの数/調査回答総数×100

##### (2) 指標の過去データ

##### 【参考】

大田区子ども・子育て支援事業計画策定に向けたアンケート調査報告書（平成31年3月）において、「あなたは、悩みや心配事を相談できる機関を知っていますか。」という設問に対し、「知っている」と回答した中学生の割合：62.3%

##### (3) 最新値

小学生74.0%、中学生78.6%、  
高校生世代82.9%(令和5年度)

##### (4) 目標値

85%（令和10年度）  
100%（令和14年度）

##### (5) 目標値の設定理由

最新値は、大田区子ども・子育て支援事業計画策定に向けたアンケート調査報告書（令和6年5月）において、「相談できる所を知っているのはどれですか。」という設問に対し、「子ども家庭支援センター」等いずれかを回答したこどもの割合。最終目標値は小～高校生世代のいずれも100%とした。

#### ■ 指標② 自分らしく過ごせたり、居心地が良いと感じる居場所があるこどもの割合

##### (1) 指標の把握方法・算出方法

区の施策検証等に向けた大田区区民意識調査  
「あなたには、自分らしく過ごせたり、居心地が良いと感じる居場所がありますか。」という設問に対し、「ある」と回答したこどもの数/調査回答総数×100

##### (2) 指標の過去データ

なし

##### (3) 最新値

なし

##### (4) 目標値

最新値取得次第設定

##### (5) 目標値の設定理由

次年度以降に実施する区民意識調査により、最新値を把握したのちに目標値を設定する。

# 1-1 こどもの権利が守られ、子どもたちが自分らしく育つ環境づくり

## 5-2 指標・目標値

### ■ 指標③ 居場所を複数箇所選択したこどもの割合

#### (1) 指標の把握方法・算出方法

区の施策検証等に向けた大田区区民意識調査  
 指標②で「ある」と回答したこどものうち、「あなたが、自分らしく過ごせたり、居心地が良いと感じる居場所は次のうちどれですか。」という設問に対し、複数回答したこどもの数/調査回答総数×100

#### (2) 指標の過去データ

なし

#### (3) 最新値

なし

#### (4) 目標値

最新値取得次第設定

#### (5) 目標値の設定理由

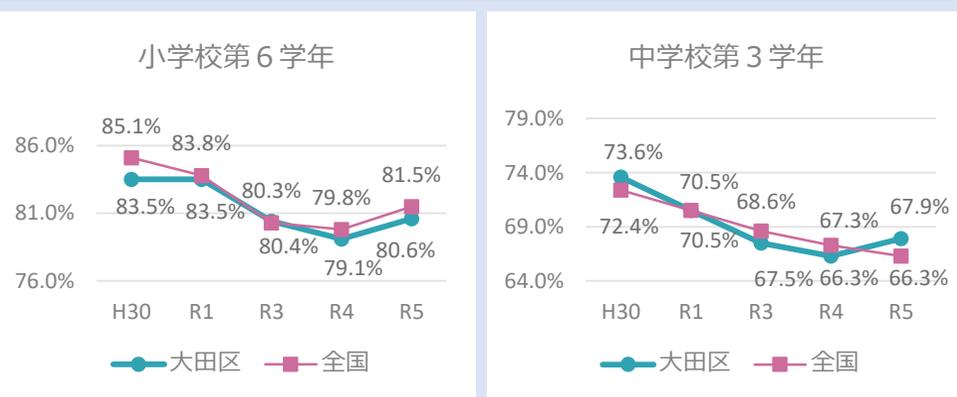
次年度以降に実施する区民意識調査により、最新値を把握したのちに目標値を設定する。

### ■ 指標④ 将来の夢や目標をもっているこどもの割合

#### (1) 指標の把握方法・算出方法

全国学力・学習状況調査  
 「将来の夢や目標を持っていますか」という設問に対し、「持っている」と回答したこどもの数/調査回答総数×100

#### (2) 指標の過去データ



資料：「全国学力・学習状況調査」※R2は調査中止のため、記載していない

#### (3) 最新値

小6 80.6% (令和5年度)  
 中3 67.9% (令和5年度)

#### (4) 目標値

全国平均以上 (令和10年度)  
 全国平均+1ポイント以上 (令和14年度)

#### (5) 目標値の設定理由

過去5年間の全国平均との差の平均-0.3ポイント (-0.7、0.1の平均) を令和10年度までに全国平均以上にし、令和14年度までに上乗せ分を含め全国平均+1ポイント以上にする。

## 1-1 こどもの権利が守られ、子どもたちが自分らしく育つ環境づくり

### 6 施策の方向性

#### ① こどもの命と安全を守る児童相談支援体制の構築



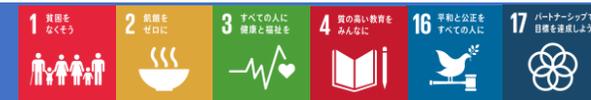
子どもたちの生きる権利や育つ権利等を守り、支える拠点としての「（仮称）大田区子ども家庭総合支援センター」を整備します。児童相談所機能と、区の子ども家庭支援機能を一体的に配置するメリットを活かし、虐待の予防から専門支援までを一貫して提供することで、さらに区の児童相談支援体制を強化します。

#### ② こども・若者が安全・安心に過ごせる多様な居場所づくり



すべてのこども・若者が、身近に安全・安心に過ごせたり気軽に相談できる多くの居場所を持ち、様々な学びや体験活動、交流等に接することができる機会を通じて自己肯定感等を高め、健やかな子育てに資することができるよう、こども・若者の主体性や声・視点を大切にしながら、多様な居場所づくりを推進します。

#### ③ 「貧困の連鎖を断ち切る」相談・支援体制の充実



ひとり親家庭等を対象に相談事業などを継続的に実施し、生活の安定を図れるよう支援を行います。また、育つ環境や世帯の所得に関わりなく、学びの意欲を将来の夢につなげられるよう、就学支援の充実を図ります。

## 1-2 こども・子育て家庭を地域や社会全体で支える環境づくり

### 1 関連する個別計画

- (1)大田区子ども・若者計画 (2)おおた 子どもの生活応援プラン (3)おおた健康プラン  
 (4)大田区子ども・子育て支援計画 (5)おおた教育ビジョン

### 2 これまでの成果（令和元～5年度）

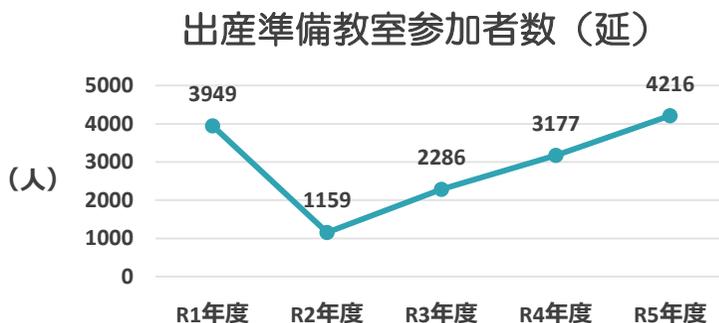
- 妊娠期から出産、子育て期まで切れ目のない支援のスタートとなる妊婦面接の推進に取り組んできました。助産師または保健師による妊婦面接を行うことで、出産や育児の不安解消や早期支援につながっています。令和5年度から面接場所を管轄の地域健康課とし、同一の窓口で切れ目なく支援する体制としました。また、転入した妊婦に加えて、転入した子育て世帯の面接を令和5年度から開始し、大田区で安心して出産や子育てができるよう支援しています。（参考：図表①）
- 両親で安定して子育てができるように、出産や育児に必要な知識を伝える両親学級や母親学級の受講率の向上に取り組んできました。土曜日開催の実施回数や定員を増やし、働いている方も参加しやすくしました。参加者同士が交流する時間も設け、子育ての孤立予防につながっています。（参考：図表②）

図表①



資料：所管課実績

図表②



資料：所管課実績

## 1-2 こども・子育て家庭を地域や社会全体で支える環境づくり

### 1 関連する個別計画

- (1)大田区子ども・若者計画 (2)おおた 子どもの生活応援プラン (3)おおた健康プラン  
 (4)大田区子ども・子育て支援計画 (5)おおた教育ビジョン

### 2 これまでの成果（令和元～5年度）

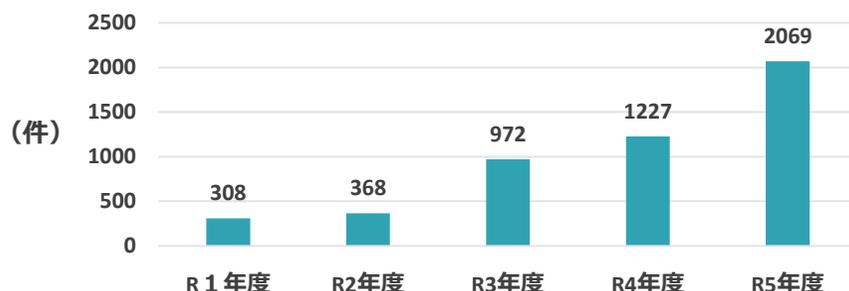
- 産後に母子の心身のケアを行う産後ケア事業について、令和元年度に訪問型を開始して以降、宿泊型、日帰り型、グループケア型と拡充してきました。利用回数が増、利用者負担額の軽減、利用券方式の導入など、支援が必要な方が利用しやすい仕組みとしました。

（※利用券はR6年度に導入）（参考：図表③）

- 妊娠期から子育て期まで、胎児やこどもの成長にあわせて発達の特徴や支援情報等を定期的にLINEやメールで配信する子育て応援メールの登録促進に取り組んできました。配信内容を充実させたほか、子育てに悩む保護者を継続的に支援するため、令和5年度に配信対象を就学前までの保護者から18歳までの保護者へ拡大しました。（参考：図表④）

図表③

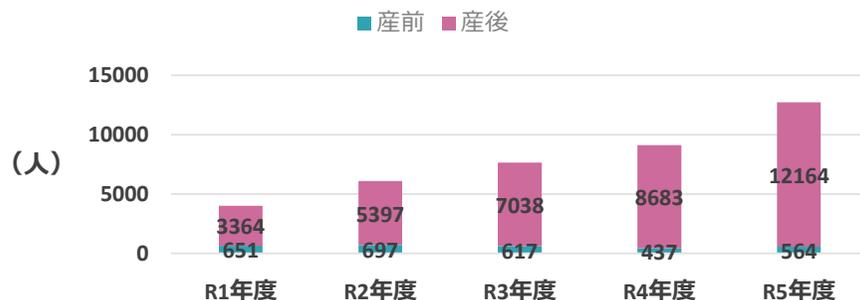
#### 産後ケア実施数



資料：所管課実績

図表④

#### 子育て応援メール配信者数



資料：所管課実績

## 1-2 こども・子育て家庭を地域や社会全体で支える環境づくり

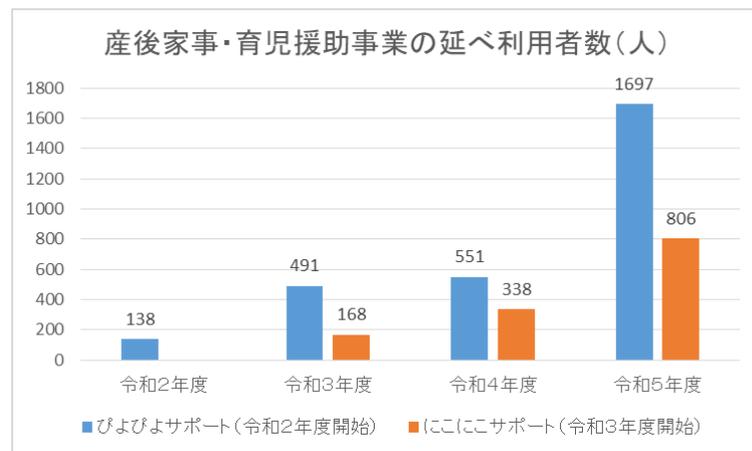
### 1 関連する個別計画

- (1)大田区子ども・若者計画 (2)おおた 子どもの生活応援プラン (3)おおた健康プラン  
 (4)大田区子ども・子育て支援計画 (5)おおた教育ビジョン

### 2 これまでの成果（令和元～5年度）

- 家事・育児の負担軽減を図るとともに、援助が必要な家庭を適切に母子保健や子育て支援の事業につなげるよう、産後家事・育児援助事業としてぴよぴよサポートを実施し、延べ2,877人（令和2～5年度）が利用しました。また、産後間もない時期に産後ドゥーラを派遣し、産後の不調や育児不安・孤独感を軽減するためにこここサポートを実施し、延べ1,312人（令和3～5年度）が利用しました。（参考：図表⑤）
- 保育所等の整備を着実に進めた結果、令和3年度には区の長年の課題であった待機児童の解消を実現しました。（参考：図表⑥）様々な主体による特色ある保育のほか、一時預かり事業など多様な保育サービスが提供されており、各世帯の就労形態や子育て事情にあわせて、サービスを選択できる基盤の構築が進みました。

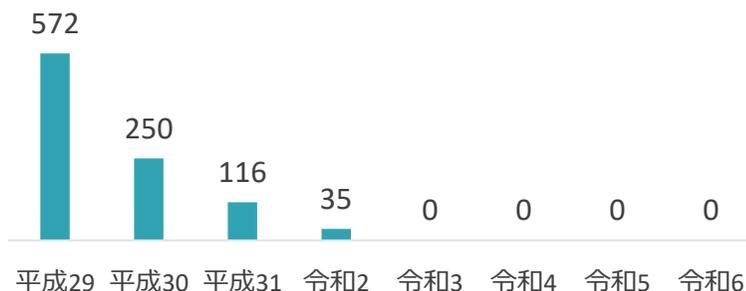
図表⑤



資料：所管課実績

図表⑥

### 待機児童数の推移



※ 図表は、各年度4月1日時点 資料：「こども文教委員会」

## 1-2 こども・子育て家庭を地域や社会全体で支える環境づくり

### 1 関連する個別計画

- (1)大田区子ども・若者計画 (2)おおた 子どもの生活応援プラン (3)おおた健康プラン  
(4)大田区子ども・子育て支援計画 (5)おおた教育ビジョン

### 2 これまでの成果（令和元～5年度）

- こども・若者が心身ともに健やかで地域社会の一員としての自覚や他者への思いやりの心と規範意識を持ち、自立的に行動できるように、こども・若者の育成・支援施策に関する様々な課題に横断的に対応する総合的指針を示すため、令和3年度に「大田区こども・若者計画」を策定しました。区長の附属機関となる「大田区青少年問題協議会」にて計画の進捗管理、評価を行うとともに、施策の実施に必要な関係行政機関相互の調整を図っています。
- 令和4年度から、学校と地域住民等が力を合わせて学校の運営に取り組む仕組みであるコミュニティ・スクール（学校運営協議会を設置した学校）を順次導入しました（令和4～5年度：合計19校）。また、全小中学校に学校支援地域本部（コミュニティ・スクールを導入した学校は地域学校協働本部）を設置し、地域住民が学校を支え、教育活動を支援しています。

## 1-2 こども・子育て家庭を地域や社会全体で支える環境づくり

### 3 現状と課題

#### 現状①

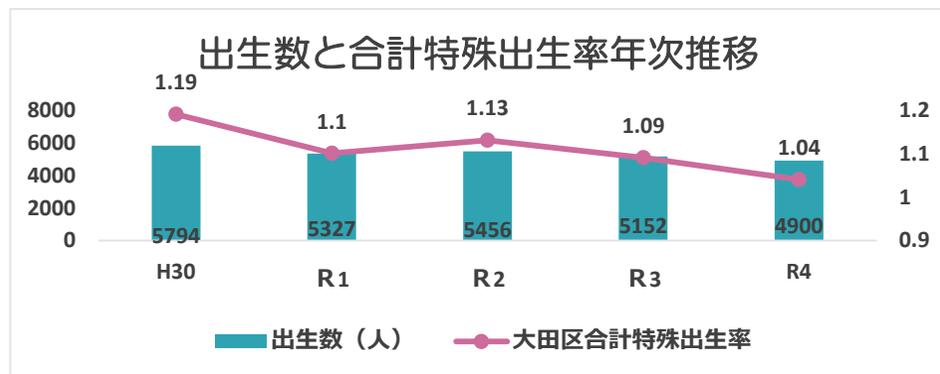
大田区においても出生数は減少傾向にあり、令和4年に5,000人を下回りました。また、大田区の合計特殊出生率は、令和元年1.10から令和4年は1.04になり、少子化がさらに進行しています。（参考：図表①）



#### 課題①

大田区の合計特殊出生率は、東京都全体及び特別区の平均と同率ですが、全国の平均値よりも低く、安心して出産できる環境づくりを推進する必要があります。

図表①



資料：「人口動態統計」

#### 現状②

親族などのサポートが希薄であったり、精神疾患等の既往歴があるなど支援を要する妊婦が増えています。また、産後も身近な子育ての相談相手や支援者が少なく、育児不安が強い方が増えています。



#### 課題②

妊婦の状況を把握し、子育てが困難にならないよう予防的に支援する体制が必要です。出産後に安定した育児を行うため、定期的に母子の心身の状況を確認し、必要な支援を継続的に実施する必要があります。

## 1-2 こども・子育て家庭を地域や社会全体で支える環境づくり

### 3 現状と課題

#### 現状③

乳幼児健康診査を実施し、必要な医療等へつないでいます。健診未受診のこどもについては、関係機関と協力し、状況把握に努めています。（参考：図表②）



#### 課題③

各乳幼児健康診査の受診率をさらに高めて、すべての乳幼児の発達状況を把握し、必要な医療等へ早期につなぐほか、きめ細やかに支援できる体制づくりが必要です。

図表② 乳幼児健康診査受診率



資料：「母子保健事業報告年報」

#### 現状④

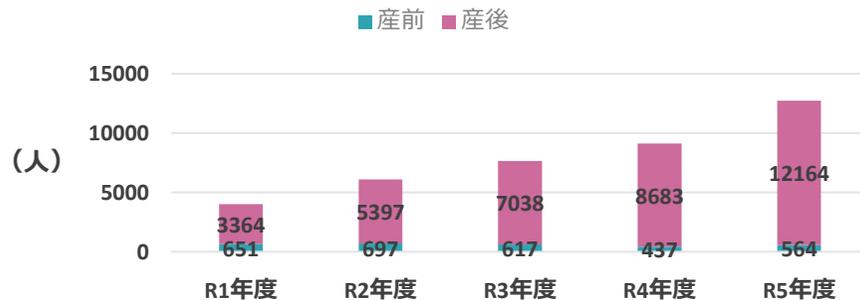
妊娠・出産・子育てに係る多くの情報を区ホームページや子育てハンドブックに掲載しているほか、子育て応援メールで胎児やこどもの年齢に合わせた情報を定期的に配信しています。（参考：図表③）



#### 課題④

発信方法や内容を整理し、すべての家庭が状況に応じた子育て支援情報が得られる環境づくりが必要です。

図表③ 子育て応援メール配信者数



資料：所管課実績

## 1-2 こども・子育て家庭を地域や社会全体で支える環境づくり

### 3 現状と課題

#### 現状⑤

出産後も就業を継続している女性が増えています。男性の育児休業取得率は上昇しているものの、家事や育児の負担は女性側が高い傾向です。（参考：図表④）

#### 課題⑤

両親ともに仕事と家庭を両立しながら協力して子育てできるように、父親の主体的な子育てをさらに推進するための支援が必要です。

図表④ 出産準備教室参加者数（延）



資料：所管課実績

#### 現状⑥

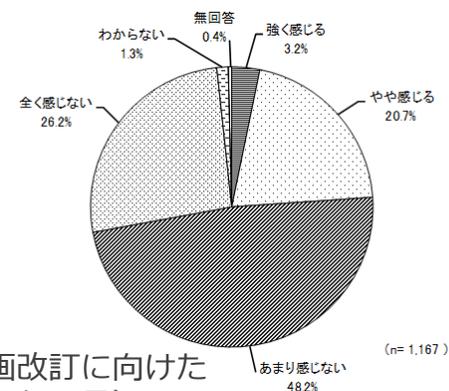
核家族化の進行や地域のつながりの希薄化等により、児童虐待の一つの要因となる孤独・孤立を感じながら子育てを行っている家庭が一定数存在しています。（参考：図表⑤）

#### 課題⑥

育児不安の解消や地域で子育てをサポートしやすい環境づくりなど、孤独・孤立を防止する対策の強化が必要です。

図表⑤

子育てに関する孤独・孤立を感じる区民(就学前児童の保護者)の割合



資料：「大田区子ども・子育て支援計画改訂に向けたアンケート調査報告書（令和6年5月）」

## 1-2 こども・子育て家庭を地域や社会全体で支える環境づくり

### 3 現状と課題

#### 現状⑦

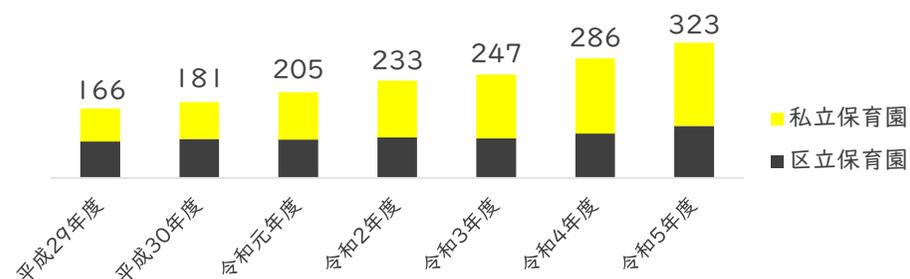
保育所の整備によって量の拡大が進んだ一方、障がいなど特別な支援が必要な児童の増加などに対応することが求められています。（参考：図表⑥）

#### 課題⑦

保育の質の向上への取組に加えて、障がいなどがある児童に対する支援を強化するなど、すべてのこどもに対する支援体制の整備が急務となっています。

図表⑥

特別な支援を要する児童の受入れ数



資料：所管課実績

#### 現状⑧

こども・若者を取り巻く環境には、健やかな成長を阻むような有害な情報などがあふれており、実際にトラブルに巻き込まれてしまう危険性があります。人格形成の途上にあるこどもたちが犯罪等により被害を受けた場合、その後の健やかな成長に与える影響は大きく、心身の不調等の精神的被害や経済的被害、インターネット等を通じた誹謗中傷を含め、二次的被害に苦しむこともあります。

#### 課題⑧

こどもたちが犯罪等に巻き込まれないよう、地域における見守り活動や環境浄化運動等に取り組むとともに、こどもの心のケアにおいては、その悩みや不安を受け止めて相談にあたることや、関係機関が連携して必要な支援を行っていくことが求められています。

## 1-2 こども・子育て家庭を地域や社会全体で支える環境づくり

### 3 現状と課題

#### 現状⑨

新型コロナウイルス感染症の影響等により、生活におけるデジタル化の推進が加速する一方で、こどもが社会性や協調性を育むことのできる地域活動への参加や多世代交流、こどもが主体的に関わることのできる活動の場や機会が減少しています。



#### 課題⑨

地域で活動する団体のスキルアップを図るとともに、地域での体験を通じ成長したこどもが次の活動の担い手となるなど、こども・若者を主体とした地域活動が継続して循環していく仕組みが必要とされています。

#### 現状⑩

地域のつながりや支えあいの希薄化などによる地域社会の教育力の低下や、家庭教育が困難な現状が指摘されています。また、急激な社会の変化に伴い、こどもたちや学校が抱える課題は、ますます複雑化・困難化しています。



#### 課題⑩

こどもたちや学校が抱える課題が複雑化・困難化する中、学校・家庭・地域が総がかりでこどもたちを取り巻く課題への対応や学びの充実に取り組み、こどもたちを育てていくことが求められています。

## 1-2 こども・子育て家庭を地域や社会全体で支える環境づくり

### 【参考】対応する基本構想で描いた2040年ごろのまちの姿

**基本目標** 未来を創り出す子どもたちが夢と希望をもって健やかに育つまち

**まちの姿**

- 希望する誰もが、安心して子どもを産み、育てることができ、子どもたちが愛情を注がれて健やかに成長しています。
- 子どもたちをあたたかいまなざしで包み、こどもの声に耳を傾けながら、地域全体で子育て・子育てを支えています。
- 子どもたちが安全・安心で自分らしく過ごせる居場所や楽しくのびのびと遊ぶ場所が充実しています。

### 4 めざす姿

#### めざす姿①

妊娠期から子育て期まで切れ目なくサポートが受けられるようになり、すべての子育て家庭が孤独や孤立を感じることなく安心して子どもを産み、喜びややりがいを感じて子育てをしています。

#### 対応する課題

課題①②③

④⑤⑥⑦

### 5-1 指標名

#### 指標①（めざす姿①に対応）

子育てに関して孤独や孤立を感じている区民の割合

#### 指標②（めざす姿①に対応）

妊娠や出産、子育ての相談先を知っている妊婦及び子育て家庭の割合

## 1-2 こども・子育て家庭を地域や社会全体で支える環境づくり

### 【参考】対応する基本構想で描いた2040年ごろのまちの姿

**基本目標** 未来を創り出す子どもたちが夢と希望をもって健やかに育つまち

#### まちの姿

- 希望する誰もが、安心して子どもを産み、育てることができ、子どもたちが愛情を注がれて健やかに成長しています。
- 子どもたちをあたたかいまなざしで包み、こどもの声に耳を傾けながら、地域全体で子育て・子育てを支えています。
- 子どもたちが安全・安心で自分らしく過ごせる居場所や楽しくのびのびと遊ぶ場所が充実しています。

### 4 めざす姿

#### めざす姿②

地域住民、地域団体、学校などが相互の連携・協働によって子どもたちと子育て家庭をあたたかく見守り、地域社会全体で子育て・子育てを支えています。

#### 対応する課題

課題⑧⑨⑩

### 5-1 指標名

#### 指標③（めざす姿②に対応）

地域に見守られて子どもが成長していると感じる保護者の割合

#### 指標④（めざす姿②に対応）

住んでいる地域が子ども・子育て家庭をあたたかく見守っていると感じる区民の割合

## 1-2 こども・子育て家庭を地域や社会全体で支える環境づくり

### 5-2 指標・目標値

#### ■ 指標① 子育てに関して孤独や孤立を感じている区民の割合

##### (1) 指標の把握方法・算出方法

区の施策検証等に向けた大田区区民意識調査

「あなたは子育てに関して孤独や孤立を感じていますか。」という設問に対し、「強く感じる」「やや感じる」と回答した区民の数/調査回答総数×100

##### (2) 指標の過去データ

「あなたは子育てに関して孤独や孤立感を感じていますか。」という設問に対し、「強く感じる」又は「やや感じる」と回答した区民(就学前児童の保護者)の割合(%)



※平成25年度、平成30年度の設問は「孤立感」の文言のみ記載

資料：大田区子ども・子育て支援計画改訂に向けたアンケート調査報告書(令和6年5月)

##### (3) 最新値

23.9% (令和5年度)

##### (4) 目標値

22% (令和10年度)  
20% (令和14年度)

##### (5) 目標値の設定理由

目標値は、現状4人に1人程度となっているところ、令和14年度までに5人に1人程度まで減少していることをめざし、令和10年度はその中間数値を設定した。

#### ■ 指標② 妊娠や出産、子育ての相談先を知っている妊婦及び子育て家庭の割合

##### (1) 指標の把握方法・算出方法

出産応援事業のアンケート

「妊娠や出産、子育ての相談先を知っている」という設問に、「知っている」と回答した区民の数/調査回答総数×100

##### (2) 指標の過去データ

なし

##### (3) 最新値

なし

##### (4) 目標値

80% (令和10年度)  
90% (令和14年度)

##### (5) 目標値の設定理由

すこやか親子21アンケートで「育てにくさを感じた時に相談先を知っているなど何らかの解決方法を知っていますか」で「はい」の割合が、令和4年度78.4%であることを踏まえて設定した。

## 1-2 こども・子育て家庭を地域や社会全体で支える環境づくり

### 5-2 指標・目標値

■ 指標③ 地域に見守られてこどもが成長していると感じる保護者の割合

#### (1) 指標の把握方法・算出方法

区の施策検証等に向けた大田区区民意識調査  
「地域に見守られてこどもが成長していると感じますか」という設問に対し、「強く感じる」「やや感じる」と回答した区民の数/調査回答総数×100

#### (2) 指標の過去データ

なし

#### (3) 最新値

なし

#### (4) 目標値

最新値取得次第設定

#### (5) 目標値の設定理由

次年度以降に実施する区民意識調査により、最新値を把握したのちに目標値を設定する。

■ 指標④ 住んでいる地域がこども・子育て家庭をあたたく見守っていると感じる区民の割合

#### (1) 指標の把握方法・算出方法

区の施策検証等に向けた大田区区民意識調査  
「住んでいる地域がこども・子育て家庭をあたたく見守っていると感じていますか」という設問に対し、「強く感じる」「やや感じる」と回答した区民の数/調査回答総数×100

#### (2) 指標の過去データ

なし

#### (3) 最新値

なし

#### (4) 目標値

最新値取得次第設定

#### (5) 目標値の設定理由

令和6年度に実施する区民意識調査により、最新値を把握したのちに目標値を設定する。

## 6 施策の方向性

### ①妊娠期から子育て期にわたる子育て家庭を支える支援の充実



妊娠・出産・子育てに関する不安や負担を軽減するため、妊娠期から子育て期までの段階に応じた相談支援や、サービスを切れ目なく提供します。

また、こどもや子育て家庭に、必要な情報が必要な時期に届けられるよう、ICT技術を活用した発信を強化します。

### ②こどもの健やかな成長を支える保健体制の充実



乳幼児の疾病や障害等を早期に発見し、適切な治療や療育へつなぐため、出産後から就学前まで切れ目のない健康診査を実施します。また、円滑な支援や就学につなぐため、健康診査事業をさらに充実させ、関係機関と連携して支援します。

### ③仕事と子育ての調和がとれた暮らしの実現



積極的に子育てをする男性の割合を高め、家事・育児を男女の区別なく同様に行う意識の醸成に向けた取組を推進します。

また、乳幼児期から学童期における多様な保育の場を確保し、必要な時期から保育を受けられる環境の充実を図ることで、仕事と子育てを両立しやすい環境を整備します。

6 施策の方向性

④こども・若者の健やかな成長と子育てを支える地域づくり



こども・若者の健やかな成長を地域で支えるため、こどもの健全育成に寄与する活動や地域コミュニティの核としての学校づくり、子育て家庭を支援する新たな担い手の発掘・養成等を進め、地域社会全体でこどもたちや子育て家庭を支援します。

また、こども・若者にとって安全・安心な地域環境の整備を進めます。

## 1-3 豊かな人間性と確かな学力を身に付け、グローバル社会を創造的に生きることの育成

### 1 関連する個別計画

#### (1) おおた教育ビジョン

### 2 これまでの成果（令和元～5年度）

- 「ものづくりのまち」の特色を生かした学習や科学教育、ICT教育などにより、予測困難な未来社会を生きていくために必要な創造力や科学的な思考力、情報活用能力の育成を図るなど、未来社会を見据えた教育を推進しました。

- 国際社会に対応できる力を育成するため、英語でコミュニケーションを図る資質・能力を育成する教育活動を展開しました。令和5年度の「英語検定3級以上を取得している生徒の割合（中学校第3学年）」は55.6%で、令和元年度と比べ8.2ポイント上昇しました。（参考：図表①）

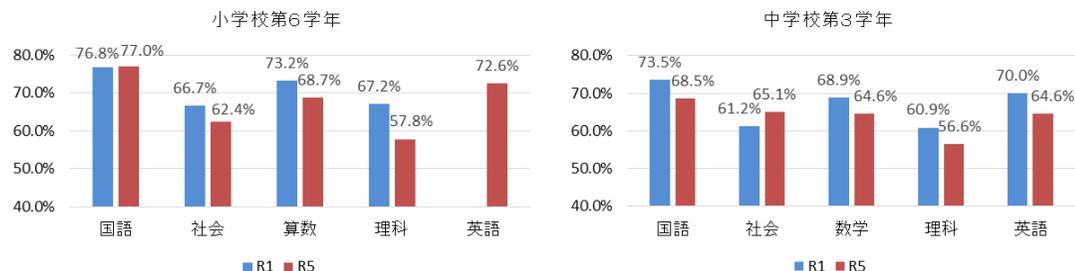
英語検定3級以上を取得している生徒の割合  
（中学校第3学年）



資料：「大田区教育委員会調査」

- 新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受け、学校の臨時休業や行事の縮小など、教育活動が制限されることもありましたが、各学校の創意工夫などにより、子どもたちが生きていく上で基礎となる力をはぐくむ教育を推進しました。（参考：図表②）

図表② 大田区学習効果測定結果（期待正答率を上回った児童・生徒の割合）



※R1は英語を実施していない

資料：大田区学習効果測定結果を基に作成

## 1-3 豊かな人間性と確かな学力を身に付け、グローバル社会を創造的に生きることの育成

### 1 関連する個別計画

#### (1) おおた教育ビジョン

### 2 これまでの成果（令和元～5年度）

- 質の高い教育を実現するため、教師の資質・能力向上に向けた研修や、各教科等の授業研究・研修会等に取り組み、教師の指導力・授業力の向上を図りました。また、一人ひとりの教育ニーズに応じたきめ細かな指導に向けて、小学校における35人学級化を段階的に進めました。（参考：図表③）

図表③

令和3年に改正された「公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律」による35人学級の実施年度

年度	R3	R4	R5	R6	R7
学年	小2	小3	小4	小5	小6

資料：文部科学省資料を基に作成

※小学校第2学年については、「東京都公立小学校、中学校、義務教育学校及び中等教育学校前期課程の学級編制基準」に基づき、平成24年度から35人学級を実施している。

## 1-3 豊かな人間性と確かな学力を身に付け、グローバル社会を創造的に生きることの育成

### 3 現状と課題

#### 現状①

総合的な学習の時間など、様々な学習の機会を捉えて地域・社会で活躍する人と関わり、地域課題について学び、考える授業を展開しています。



#### 課題①

予測困難な未来社会を生きるこどもたちが、より良い社会を築いていくためには、課題を発見・解決する力や新たな価値を創造する力の育成が求められています。

#### 現状②

児童・生徒に1人1台のタブレット端末が配備され、ICTを活用した授業が定着しています。(参考：図表①)

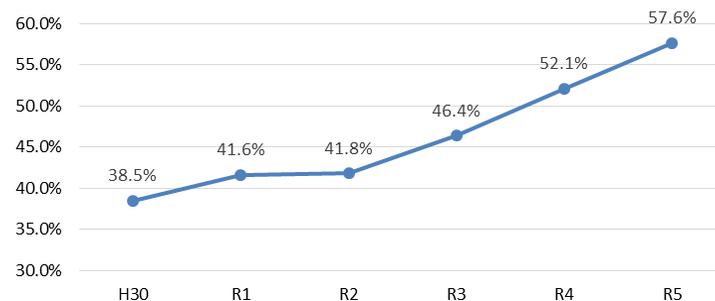


#### 課題②

情報技術が社会の中で果たす役割が増していく中、情報社会に主体的に参画していくための情報活用能力の育成が求められています。

図表①

「コンピュータやインターネットなどを利用して、情報を収集して自分の考えをまとめたり、発表したりすることができる」と答えた児童の割合(小学校第6学年)



資料：「大田区教育委員会調査」

## 1-3 豊かな人間性と確かな学力を身に付け、グローバル社会を創造的に生きることの育成

### 3 現状と課題

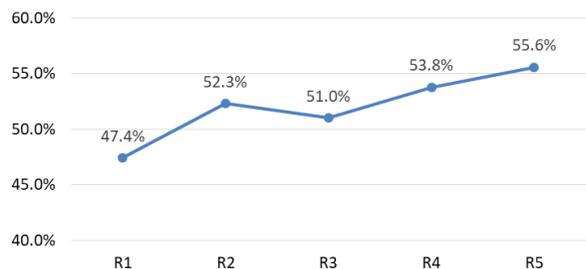
#### 現状③

英語教育では、外国語教育指導員の活用等により、英語に慣れ親しみながら会話をする機会を増やし、「聞く」「話す」「読む」「書く」の英語4技能を総合的に向上させています。（参考：図表②）

#### 課題③

グローバル化が進展した社会において活躍するためには、英語での実践的なコミュニケーション能力を育成するとともに、異文化に対する理解を深め、豊かな国際感覚を醸成することが求められます。

図表② 英語検定3級以上を取得している生徒の割合（中学校第3学年）



資料：「大田区教育委員会調査」

#### 現状④

豊かな人生を生きていく上で基礎となる豊かな心や確かな学力、健やかな体の調和のとれた子どもを育てる教育が行われています。

#### 課題④

子どもたちの可能性を最大限に引き出すためには、教師の指導力を向上させるとともに、幸福感や自己肯定感など、子どもたちのウェルビーイングを高めながら、一人ひとりの最適な学びを実現していく必要があります。

## 1-3 豊かな人間性と確かな学力を身に付け、グローバル社会を創造的に生きるこどもの育成

【参考】対応する基本構想で描いた2040年ごろのまちの姿

**基本目標** 未来を創り出す子どもたちが夢と希望をもって健やかに育つまち

**まちの姿** 世界の人々と積極的に関わりながら、よりよい未来を創り出す人財が育っています。

### 4 めざす姿

#### めざす姿①

子どもたちが社会の様々な課題について主体的に考え、周りの人々と協働する学習を通して、課題を発見・解決する力や新たな価値を創造する力がはぐくまれています。また、情報社会に主体的に参画し、情報技術を適切かつ効果的に活用していく力がはぐくまれています。

#### 対応する課題

課題①、②

### 5-1 指標名

#### 指標①（めざす姿①に対応）

5年生まで（1、2年生のとき）に受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んだ児童・生徒の割合

#### 指標②（めざす姿①に対応）

地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う児童・生徒の割合

## 1-3 豊かな人間性と確かな学力を身に付け、グローバル社会を創造的に生きることの育成

【参考】対応する基本構想で描いた2040年ごろのまちの姿

**基本目標** 未来を創り出す子どもたちが夢と希望をもって健やかに育つまち

**まちの姿** 世界の人々と積極的に関わりながら、よりよい未来を創り出す人財が育っています。

### 4 めざす姿

#### めざす姿②

英語での実践的なコミュニケーション能力、我が国や郷土の伝統・文化を尊重する心、異なる文化や価値観を理解しともに生きる態度などを備えた、世界とつながる国際都市おおたを担う人財が育っています。

#### 対応する課題

課題③

### 5-1 指標名

#### 指標③（めざす姿②に対応）

自分とはちがう文化や考えをもつ外国の人などと積極的に英語でコミュニケーションをとって話しあいたいと思う児童・生徒の割合

## 1-3 豊かな人間性と確かな学力を身に付け、グローバル社会を創造的に生きるこどもの育成

【参考】対応する基本構想で描いた2040年ごろのまちの姿

**基本目標** 未来を創り出すこどもたちが夢と希望をもって健やかに育つまち

**まちの姿** 世界の人々と積極的に関わりながら、よりよい未来を創り出す人財が育っています。

### 4 めざす姿

#### めざす姿③

主体的な学習や話しあいによりお互いの考えを深める協働的な学習を通して、こどもたちはウェルビーイングを実感しながら自分らしく成長しています。

#### 対応する課題

課題④

### 5-1 指標名

#### 指標④（めざす姿③に対応）

学級の児童（生徒）との間で話しあう活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができる児童・生徒の割合

#### 指標⑤（めざす姿③に対応）

自分には、よいところがあると思う児童・生徒の割合

# 1 未来を創り出す子どもたちが夢と希望をもって健やかに育つまち

## 1-3 豊かな人間性と確かな学力を身に付け、グローバル社会を創造的に生きるこどもの育成

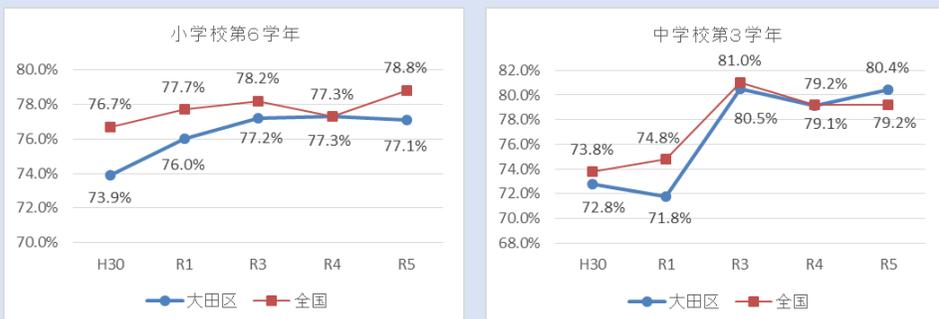
### 5-2 指標・目標値

- 指標① 5年生まで（1、2年生のとき）に受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んだ児童・生徒の割合

#### （1）指標の把握方法・算出方法

全国学力・学習状況調査（小学校第6学年・中学校第3学年）  
「5年生まで（1、2年生のとき）に受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか」という設問に対し、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した児童・生徒の数/調査回答総数×100

#### （2）指標の過去データ



資料：「全国学力・学習状況調査」 ※R2は調査中止のため、記載していない

#### （3）最新値

小6 77.1%（令和5年度）  
中3 80.4%（令和5年度）

#### （4）目標値

全国平均以上（令和10年度）  
全国平均+1.5ポイント以上（令和14年度）

#### （5）目標値の設定理由

過去5年間の全国平均との差の平均-1.06ポイント（-1.44、-0.68の平均）を令和10年度までに0にし、令和14年度までに上乗せ分を含め全国平均+1.5ポイント以上にする。

- 指標② 地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う児童・生徒の割合

#### （1）指標の把握方法・算出方法

全国学力・学習状況調査（小学校第6学年・中学校第3学年）  
「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか」という設問に対し、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した児童・生徒の数/調査回答総数×100

#### （2）指標の過去データ

#### 小学校第6学年

	R5
大田区	71.7%
全国平均	76.8%

#### 中学校第3学年

	R5
大田区	60.6%
全国平均	63.9%

資料：「全国学力・学習状況調査」

#### （3）最新値

小6 71.7%（令和5年度）  
中3 60.6%（令和5年度）

#### （4）目標値

全国平均以上（令和10年度）  
全国平均+2ポイント以上（令和14年度）

#### （5）目標値の設定理由

過去5年間の全国平均との差の平均-1.58ポイント（-2.04、-1.12の平均）を令和10年度までに0にし、令和14年度までに上乗せ分を含め全国平均+2ポイント以上にする。

## 1-3 豊かな人間性と確かな学力を身に付け、グローバル社会を創造的に生きることの育成

### 5-2 指標・目標値

- 指標③ 自分とはちがう文化や考えをもつ外国の人などと積極的に英語でコミュニケーションをとって話しあいたいと思う児童・生徒の割合

#### (1) 指標の把握方法・算出方法

区の施策検証等に向けた大田区区民意識調査  
 「自分とはちがう文化や考えをもつ外国の人などと積極的に英語でコミュニケーションをとって話しあいたいと思いますか」という設問に対し、「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」と回答した児童・生徒の数/調査回答総数×100

#### (2) 指標の過去データ

なし

#### (3) 最新値

なし

#### (4) 目標値

最新値取得次第設定

#### (5) 目標値の設定理由

次年度以降に実施する区民意識調査により、最新値を把握したのちに目標値を設定する。

# 1-3 豊かな人間性と確かな学力を身に付け、グローバル社会を創造的に生きるこどもの育成

## 5-2 指標・目標値

■ 指標④ 学級の児童（生徒）との間で話しあう活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができる児童・生徒の割合

### (1) 指標の把握方法・算出方法

全国学力・学習状況調査（小学校第6学年・中学校第3学年）  
「学級の児童（生徒）との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」という設問に対し、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した児童・生徒の数/調査回答総数×100

### (2) 指標の過去データ



資料：「全国学力・学習状況調査」 ※R2は調査中止のため、記載していない

### (3) 最新値

小6 81.6%（令和5年度）  
中3 79.4%（令和5年度）

### (4) 目標値

全国平均以上（令和10年度）  
全国平均+1ポイント以上  
（令和14年度）

### (5) 目標値の設定理由

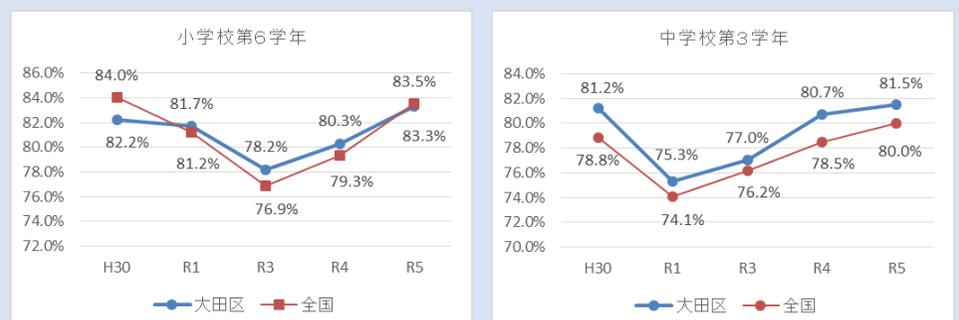
過去5年間の全国平均との差の平均-0.38ポイント（-0.30、-0.46の平均）を令和10年度までに0にし、令和14年度までに上乗せ分を含め全国平均+1ポイント以上にする。

■ 指標⑤ 自分には、よいところがあると思う児童・生徒の割合

### (1) 指標の把握方法・算出方法

全国学力・学習状況調査（小学校第6学年・中学校第3学年）  
「自分には、よいところがあると思いますか」という設問に対し、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した児童・生徒の数/調査回答総数×100

### (2) 指標の過去データ



資料：「全国学力・学習状況調査」 ※R2は調査中止のため、記載していない

### (3) 最新値

小6 83.3%（令和5年度）  
中3 81.5%（令和5年度）

### (4) 目標値

全国平均以上（令和10年度）  
全国平均+2ポイント以上  
（令和14年度）

### (5) 目標値の設定理由

令和10年度の目標値はおおた教育ビジョンに合わせ全国平均以上とし、令和14年度は過去5年間の全国平均との差の平均0.89ポイント（0.16、1.62の平均）に上乗せ分を含め全国平均+2ポイント以上とする。

## 1-3 豊かな人間性と確かな学力を身に付け、グローバル社会を創造的に生きることの育成

### 6 施策の方向性

#### ① 予測困難な未来社会を創造的に生きる力の育成



社会の様々な課題を自分事として捉え、主体的に考え、他者と協働し、課題解決していく意欲や、予測困難な未来社会を切り拓いていくために重要な創造力や課題解決力、情報活用能力を育成します。

#### ② 世界とつながる国際都市おおたを担う人財の育成



英語での実践的なコミュニケーション能力を着実に高めるとともに、我が国や郷土の伝統や文化に触れ、尊重する心や、異なる文化や価値観を持つ相手と積極的にコミュニケーションを取りながら、相手の考え方を理解し、互いに認めあった上で合意形成を図ったり、協力していく態度を育成します。

また、国際社会・地域社会に関心を持ち、持続可能な社会を形成していく態度を育成します。

#### ③ 確かな学力・豊かな心・健やかな体の育成



子どもたちのウェルビーイングを高めながら、確かな学力や意欲を持って自ら学ぼうとする資質・能力を育てます。

また、自立した人間としてより良く生きるための豊かな心、運動習慣など生涯にわたって健康の維持増進を図る態度を育みます。

6 施策の方向性

④こどもたちの可能性を引き出す学校力・教師力の向上



こどもたちの未来を創り出す力を育成するため、こどもたち一人ひとりの最適な学びを実現する授業改善を推進するとともに、研修の充実等により教師が備えるべき資質・能力を高め、教師の指導力を一層向上させます。  
また、質の高い教育の実現や複雑化・困難化する教育課題に対応するため、学校の組織的な運営力を向上させます。

## 1-4 一人ひとりが自分らしく学べ、個性と能力を伸ばす教育環境の整備

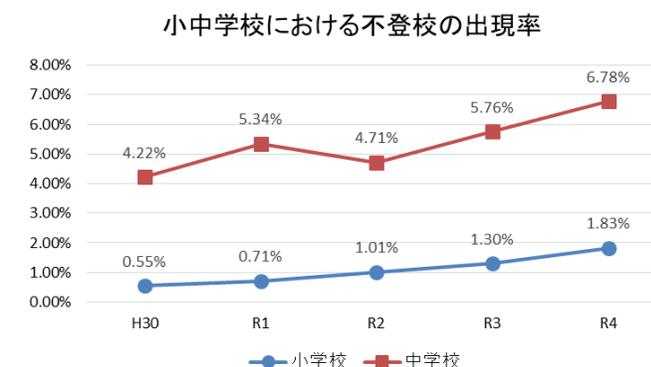
### 1 関連する個別計画

#### (1) おおた教育ビジョン

### 2 これまでの成果（令和元～5年度）

- 障がいやいじめ、不登校、日本語能力など様々な困難や悩みのある子どもに対し、一人ひとりに寄り添い、多様な教育ニーズに応じた支援や教育環境の創出を行ってきました。
- 不登校の子どもが増加傾向にある中、令和3年度に分教室型の学びの多様化学校である「みらい学園中等部」を開室し、在籍校への復帰が困難となっている不登校生徒を対象として、その実態に配慮した特別の教育課程を編成し、教育活動を行っています。（参考：図表①）
- 老朽化した学校施設の整備を計画的に進め、令和元～5年度の5年間で新たに10校の改築に着手したほか、志茂田小学校、志茂田中学校、大森第四小学校、大森第七中学校の4校の改築工事が完了しました。

図表①



資料：「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」

# 1 未来を創り出す子どもたちが夢と希望をもって健やかに育つまち

## 1-4 一人ひとりが自分らしく学べ、個性と能力を伸ばす教育環境の整備

### 3 現状と課題

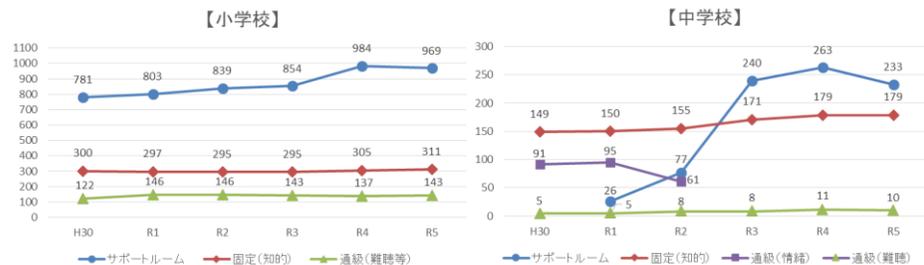
#### 現状①

学校は、障がいのある子ども一人ひとりの教育的ニーズを把握し、それに対応した適切な指導や支援を行う特別支援学級や特別支援教室（サポートルーム）等を設置し、個々に応じたきめ細かな指導を行っています。（参考：図表①）

#### 課題①

すべての教職員が障がいや特別支援教育に係る理解を深めるとともに、一人ひとりの教育的ニーズに応じた多様な学びの場を整備していくことが求められています。

図表① 特別支援学級・特別支援教室（サポートルーム） 児童・生徒数



資料：「大田区教育委員会資料」

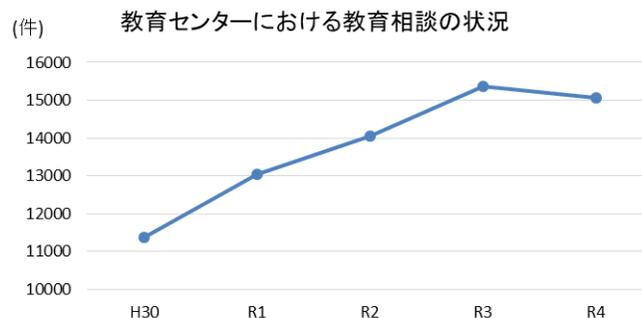
#### 現状②

大田区いじめ防止対策推進条例により、いじめの未然防止や早期発見・早期対応の取組を総合的かつ効果的に推進しています。また、増加傾向にある不登校の未然防止や早期支援を行っています。（参考：図表②）

#### 課題②

引き続きいじめ対策を徹底し、すべての子どもが安心して学校生活を送れるようにする必要があります。また、不登校の子どもに対しては、安心して過ごせる居場所づくりや学習機会の確保が求められます。

図表②



資料：「大田区教育委員会資料」

## 1-4 一人ひとりが自分らしく学べ、個性と能力を伸ばす教育環境の整備

### 3 現状と課題

#### 現状③

学校施設については、施設数や整備状況、建物の健全度などを踏まえた計画的な老朽化対策を進めています。

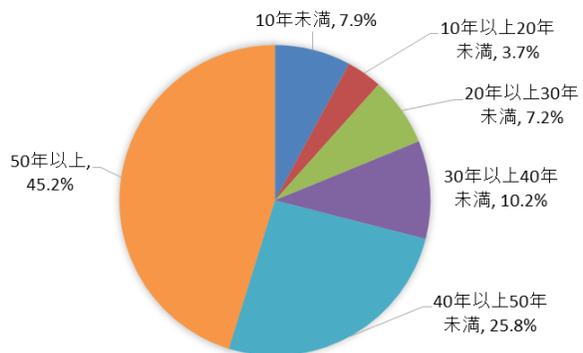
(参考：図表③)



#### 課題③

今後大量に見込まれる学校施設の改築等の需要に対応し、工期短縮などを図りながら改築等をペースアップしていく必要があります。また、災害時の避難所機能や環境に配慮した学校づくりが求められます。

図表③ 区立小中学校の築年別延床面積の割合（令和5年度末時点）



資料：「大田区教育委員会資料」

#### 現状④

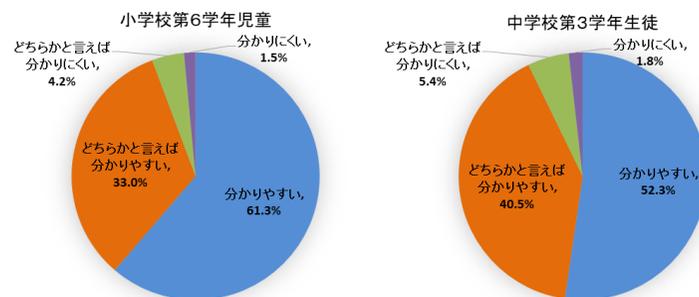
児童・生徒や教師へのタブレット端末の配備や各教室への電子黒板の配備など、様々な学習の場面においてICTを活用できる環境が整備されています。(参考：図表④)



#### 課題④

個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実に向け、ICT環境はもとより、多様な学びの姿に対応した学習環境の整備が求められています。

図表④ 「タブレットや電子黒板などを使った授業は、分かりやすいですか」に対する児童・生徒の回答



資料：「新おおた教育ビジョン策定に向けた児童・生徒及び保護者アンケート」（R4年度）

## 1-4 一人ひとりが自分らしく学べ、個性と能力を伸ばす教育環境の整備

【参考】対応する基本構想で描いた2040年ごろのまちの姿

**基本目標** 未来を創り出す子どもたちが夢と希望をもって健やかに育つまち

**まちの姿** 一人ひとりに寄り添う学びにより、すべての子どもが自分らしく輝いています。

### 4 めざす姿

#### めざす姿①

いじめ、不登校などの様々な困難や悩みのある子どもや、障がいの有無にかかわらず多様な個性と能力のある子どもの状況にあわせて切れ目なく対応、支援する教育環境が整えられています。また、子どもが問題や悩みを相談しやすい環境が整備され、すべての子どもが自分らしくいきいきと成長しています。

#### 対応する課題

課題①、②

### 5-1 指標名

#### 指標①（めざす姿①に対応）

障がいのある人もない人も誰もが平等に学べるようになっていると思う児童・生徒の割合

#### 指標②（めざす姿①に対応）

困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる児童・生徒の割合

# 1 未来を創り出す子どもたちが夢と希望をもって健やかに育つまち

## 1-4 一人ひとりが自分らしく学べ、個性と能力を伸ばす教育環境の整備

### 【参考】対応する基本構想で描いた2040年ごろのまちの姿

**基本目標** 未来を創り出す子どもたちが夢と希望をもって健やかに育つまち

**まちの姿** 一人ひとりに寄り添う学びにより、すべての子どもが自分らしく輝いています。

### 4 めざす姿

#### めざす姿②

安全・安心で快適に過ごせる魅力ある学校施設のもと、多様な学習活動に対応した柔軟で創造的な学習空間が整備され、すべての子どもの可能性が最大限に引き出されています。

#### 対応する課題

課題③、④

### 5-1 指標名

#### 指標③（めざす姿②に対応）

目標使用年数を超えない学校施設が整備されている割合

## 1-4 一人ひとりが自分らしく学べ、個性と能力を伸ばす教育環境の整備

### 5-2 指標・目標値

- 指標① 障がいのある人もない人も誰もが平等に学べるようになっていると思う児童・生徒の割合

#### (1) 指標の把握方法・算出方法

区の施策検証等に向けた大田区区民意識調査  
「障がいのある人もない人も誰もが平等に学べるようになっていると思いますか」という設問に対し、「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」と回答した児童・生徒の数/調査回答総数×100

#### (2) 指標の過去データ

なし

#### (3) 最新値

なし

#### (4) 目標値

最新値取得次第設定

#### (5) 目標値の設定理由

次年度以降に実施する区民意識調査により、最新値を把握したのちに目標値を設定する。

- 指標② 困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる児童・生徒の割合

#### (1) 指標の把握方法・算出方法

全国学力・学習状況調査（小学校第6学年・中学校第3学年）  
「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか」という設問に対し、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した児童・生徒の数/調査回答総数×100

#### (2) 指標の過去データ



資料：「全国学力・学習状況調査」

#### (3) 最新値

小6 66.4%（令和5年度）  
中3 65.1%（令和5年度）

#### (4) 目標値

全国平均以上（令和10年度）  
全国平均+2.5ポイント以上  
（令和14年度）

#### (5) 目標値の設定理由

過去2年間の全国平均との差の平均-2.25ポイント（-2.50、-2.00の平均）を令和10年度までに0にし、令和14年度までに上乘せ分を含め全国平均+2.5ポイント以上にする。

## 1-4 一人ひとりが自分らしく学べ、個性と能力を伸ばす教育環境の整備

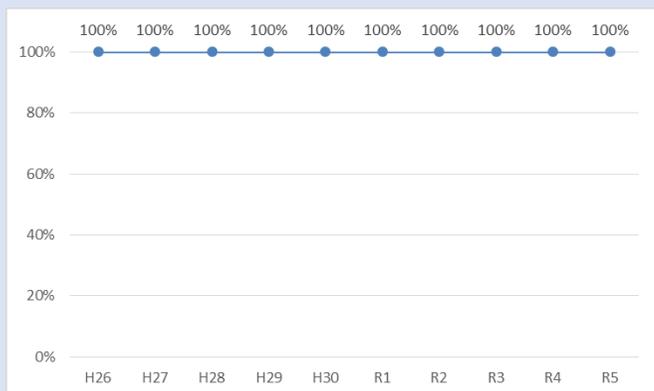
### 5-2 指標・目標値

- 指標③ 目標使用年数を超えない学校施設が整備されている割合

#### (1) 指標の把握方法・算出方法

所管課で把握した割合

#### (2) 指標の過去データ



資料：所管課実績

#### (3) 最新値

100% (令和5年度)

#### (4) 目標値

100% (令和10年度)

100% (令和14年度)

#### (5) 目標値の設定理由

昭和30～40年代にかけて整備された学校施設が多く同時に更新時期を迎えるため、建物の目標使用年数を超えないよう計画的に改築等を進める指標として常に100%を目標値とする。

## 1-4 一人ひとりが自分らしく学べ、個性と能力を伸ばす教育環境の整備

### 6 施策の方向性

#### ①自分らしくいきいきと生きるための学びの支援



いじめ対応や不登校の子どもへの支援を徹底するとともに、障がいのある子どもの将来の自立と社会参加をめざした特別支援教育を充実させるなど、子ども一人ひとりの状況に合わせて切れ目なく対応、支援する教育環境を整えます。

また、多様化する子どもの問題や悩みに対する相談機能を充実させ、子どもがより相談しやすい環境をつくります。

#### ②柔軟で創造的な学習空間と安全・安心な教育環境づくり



学校施設について、時代の変化に対応した教育環境の向上と老朽化対策の一体的な整備を推進するとともに、防災機能の強化と環境負荷低減を図ります。

また、ICT環境はもとより、多様な学びの姿に対応した学習環境を充実させるとともに、子どもの安全・安心を向上させるための教育を推進します。